

取扱説明書

手動式D I Nレールカッター

LHC-L型, LHC-LC型

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みになり、正しくご使用下さい。
また、この説明書は必ず保管しておいてください。

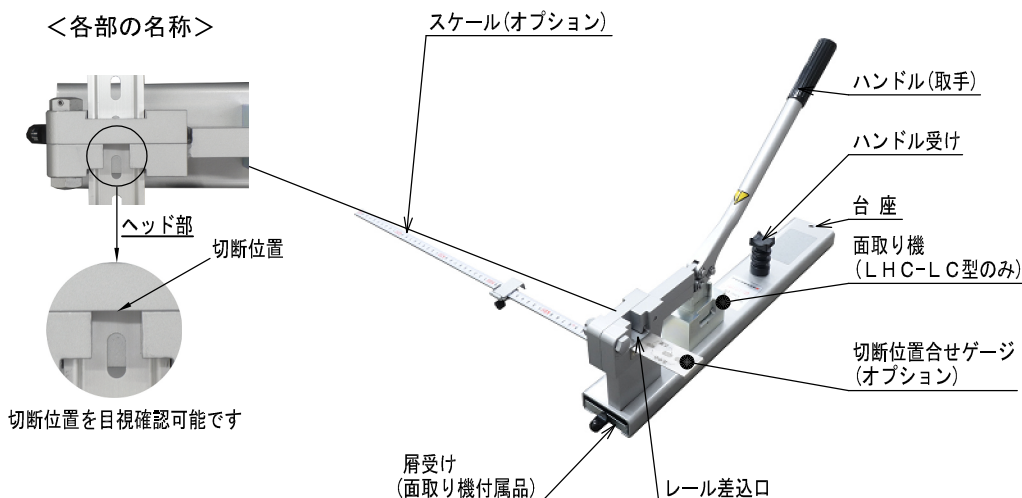
	警告	取り扱いを誤った場合に死亡または重症を負う可能性があることを示します。
	注意	取り扱いを誤った場合に中程度の障害や軽傷を負う可能性及び物的損害を被る可能性があることを示します。

※なお、“ 注意”に記す事項でも、場合によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

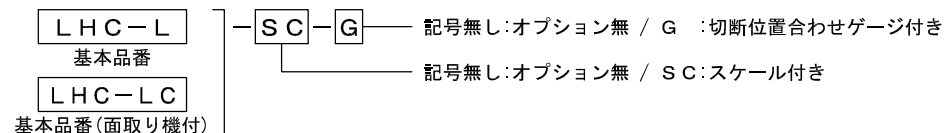
 警 告	
◎本品の故障が原因で、人命並びに社会的に重大な影響を与えることが予測される環境では使用しないで下さい。	

 注 意	
◎定期的な点検を行って下さい(使用頻度により少量の油をレール差込口より注入して下さい)。	
◎製品は絶対に改造しないで下さい。	
◎本品は篠原電機製アルミD I Nレール切断専用機です。鉄製D I Nレールや他社製品その他のものにはお使いにならないで下さい。ヘッド部破損の原因となります。	
◎切断作業中はハンドル(取手)以外の箇所(特に可動部位)に異物や手などを入れないで下さい。	

<各部の名称>



<品番について>



<使用方法>

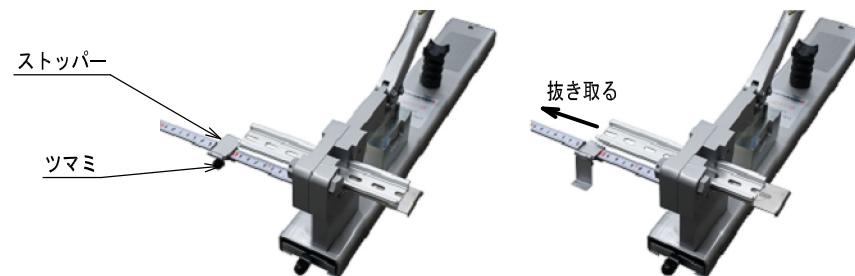
- ①レール差込口よりアルミD I Nレールを挿入して下さい。左右どちらからでも挿入できます。
- ②ハンドルを押下げてレールを切断して下さい。(ヘッド部より切断位置の目視確認可能です。)

【面取り機の使用方式】

- ①面取り機側面のレール差込口より、一番奥までアルミD I Nレールを挿入して下さい。左右どちらからでも挿入できます。
- ②ハンドルを押下げて面取り後、D I Nレールを抜き取って下さい。
- ③屑受けに切断屑が溜まり過ぎないようにご留意下さい。

【スケール(オプション、記号:SC)の使用方式】

- ①ストッパーのツマミを緩め、切断面側を任意の寸法位置にスライドさせて、ツマミを締めてストッパーを固定して下さい(ストッパーの上側は可動ですので、蝶番を閉じた状態にしておいて下さい)。
- ②スケールの反対側よりアルミD I Nレールをストッパーに突き当たるまで挿入して下さい。
- ③レール切断後はストッパーの上側を開いて、アルミD I Nレールを抜き取って下さい。



【切断位置合わせゲージ(オプション、記号:G)の使用方式】

- ①アルミD I Nレールを切断したい位置(長円穴の中心 或いは長円穴間の中心)と、ゲージの長円穴の描画とをぴったり重なるように(アルミD I Nレールの穴からゲージの網掛けが覗けるように)セットして下さい。
- ②ハンドルを押下げてレールを切断して下さい。

製品寸法	LHC-L : 510mm×76mm×約350mm(操作ハンドル頂点) LHC-LC : 510mm×76mm×約350mm(操作ハンドル頂点)
オプション品	スケール : L=485mm (500mmまで計測可能) 位置合わせゲージ : L=75mm (35mm巾)
製品質量	LHC-L : 4.8kg LHC-LC : 6.2kg
適用レール	篠原電機製アルミD I Nレール (ADK-RS、ADK-RT、ADK-RG)



篠原電機株式会社

URL: <http://www.shinohara-elec.co.jp>
MAIL: info@shinohara-elec.co.jp

技術に関するお問合せは…技術開発室 TEL:06-4792-7676 FAX:06-6358-3720
出荷に関するお問合せは…淀川事業所 TEL:06-6472-0039 FAX:06-6472-7755

この製品の仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。(20.11)